



ひらかわ

# 市議会だより

第17号

平成22年3月15日

発行

平成21年  
12月定例会

平川市農家蔵の館条例制定!! 「農家蔵の館」  
を含む12施設が指定管理者制度に!!



尾上農家蔵物語：今年で第3回となる冬のツリーズムが金屋地区で開催されました。ライトアップされた蔵と、沿道に飾られた灯籠が幻想的な演出で来場客を魅了しました。(1月30日開催)

## 目次

- ◆平成21年第4回(12月)定例会(概要)……………2  
(審議した議案)……………3～5
- ◆議決一覧表(第4回定例会・第1回臨時会)……………6
- ◆市政に関する一般質問より(11議員)……………7～13
- ◆所管事務調査報告(教育民生常任委員会)……………13
- ◆新議長あいさつ、新議員紹介……………14
- ◆平成22年第1回(2月)臨時会……………14
- ◆みなさまからの声(アンケート結果報告)……………15～17
- ◆議会の動き・編集室から……………18



(原画 工藤哲彦)

発行：青森県平川市議会  
 編集：平川市議会広報特別委員会  
 〒036-0104 青森県平川市柏木町藤山25番地6  
 TEL (0172)44-1111 FAX (0172)44-6988  
 メールアドレス：gikai@city.hirakawa.lg.jp

【お知らせ】「市議会だより」はインターネットでもご覧になることができます。  
 平川市ホームページ <http://www.city.hirakawa.lg.jp/> → 左側にあるメニュー一覧から「議会情報」→「市議会だより」からご覧下さい。

# 第4回(12月) 新議長に 定例会 小田桐信勝氏

平成21年第4回定例会は12月9日から、16日までの8日間開催されました。

初日、議案総括説明の前に、冒頭外川市長は、市政の発展と市民の福祉向上のため、多大なる御尽力をされた議員の皆様へ、敬意と感謝を述べた後「私事ではあるが、今議会は、私にとって最後の議会となった。合併してみると、想定外の、多くの問題が出てきて大変であったが、財政問題や活性化の問題でも、ここまでできることができた。生涯忘れることができない、数多くのことがあった。どうか、みんな仲よくして、知恵と力を結集し、平川市の発展と市民の幸せのため、なお一層の御尽力をくださるよう切望する。」と、あいさつを述べました。

本定例会では、条例改正案3件、条例案1件、指定管理者の指定関係12件、計画の策定・変更2件、製造の請負契約1件、規約の変更案1件、一般会計補正予算案8件の、合わせて28件が上程されました。

農業委員の推薦については、議会からは推薦しないことと決定し、28件の議案については、付託された常任委員会において、それぞれ慎重な審査の結果、いずれも原案どおり可決されました。

市長から依頼があり、最終日に追加提案された「電源立地地域対策交付金制度の延長等を求める意見書の提出について」は、原案どおり可決となりました。

最後に、小笠原勝則議長の辞職願が許可され、議長の選挙の結果、小田桐信勝議員が当選しました。



答弁をする外川市長

初日、会期を12月16日までの8日間と定め、会議録署名議員の指名、諸報告が行われました。

外川市長のあいさつと議案の総括説明の後、議事に入り、提案理由の説明が行われました。

提出された議案28件は、総務企画、建設経済、教育民生の各常任委員会にそれぞれ付託となりました。

5日目には常任委員会を開催し、6日目からは2日間にわたり11人の議員が、理事者側に対して一般質問を行いました。

8日目の最終日には、平成21年度一般会計補正予算案、国民健康保険特別会計補正予算案、介護保険特別会計補正予算案、国民健康保険診療施設事業診療所特別会計補正予算案、学校給食特別会計補正予算案、尾上地区住

宅団地温泉事業特別会計水道事業会計補正予算案、下水道事業会計補正予算案、条例改正案等の議案は、原案どおり可決されました。

総務企画常任委員会委員長から追加提案された「電源立地地域対策交付金制度の延長等を求める意見書の提出について」は原案どおり可決されました。

その他、閉会中の各常任委員会の所管事務調査と、議会運営に関する事項等について継続調査したい旨の申し出があり、申し出のとおり決定し、全日程を終了しました。

平成21年12月14日付で佐藤副議長に提出されていた小笠原前議長の辞職願は、起立多数で許可されました。単記無記名投票による議長の選挙の結果

小田桐新議長が当選し、就任のあいさつを述べました。

| 【会期日程】   |             |           |           |           |           |           |
|----------|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 12月9日(水) | 12月10日(木)   | 12月11日(金) | 12月12日(土) | 12月13日(日) | 12月14日(月) | 12月15日(火) |
| 本会議      | (議案熟考のため休会) | 常任委員会     | (休会)      | (休会)      | 一般質問      | 一般質問      |
|          |             |           |           |           |           | 本会議       |

果、小田桐議員が当選し、就任のあいさつを述べ、小田桐新議長が会議を閉じました。



議長の選挙で順番に投票を行いました。

# 条例改正案

## 職員の昼休みが15分延長に!!

●平川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例案(平成22年4月1日から施行※一部公布の日から施行)

【委員会質疑】  
問 勤務時間変更の内容について。

【答】 1日8時間勤務が7時間45分と、15分短縮される。8時15分開始から17時終了の変更はないが、昼休みの時間が12時から12時45分までの45分が、13時までの1時間となる。このことによって、住民に対するサービスの低下はないと考えている。

【答】 国家公務員の勤務時間の改正に伴い、職員の勤務時間を改める。その他

では、住宅しか建てることのできなかつたが、店舗や事務所、共同住宅等が追加になった。

●平川市農村公園等条例の一部を改正する条例案(公布の日から施行)

青森県からの財産譲与に伴い、平川市農村公園等条例に新山地区農村公園を新たに加えるものである。

位置  
新山岡部67番地1

【委員会質疑】  
問 県から譲与されることによるメリット、デメリットについて。

【答】 計画する時点において地域の要望によって建設されたもの。当然、地域住民のメリットである。特段デメリットはないが、管理料として、年間8万円が町会へ支出される。

# 条例案

## 農村の蔵文化・ファームステイの拠点に!

●平川市農家蔵の館条例(公布の日から施行)

青森県からの財産譲与に伴い、平川市農家蔵の館の、館の設置及び管理に、必要な事項を定めるため。

魅力ある農村景観が形成されている街並みの保全及び利活用を促進し、交流人口の拡大による地域の活性化に資することを目的とした拠点施設

名称  
平川市農家蔵の館  
位置  
金屋中早稲田142番地6

【委員会質疑】  
問 本条例案は、市独自で作成したものなのか。

【答】 県と協議はしているが、最終的には経済部が発案し、行政事務審議会を経て、独自に制定したものである。

ファームステイの拠点として期待されている平川市農家蔵の館



※指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間への質疑(4ページ指定管理の指定及び指定管理の期間一覽表参照)

【委員会質疑】

問 尾上蔵保存利活用促進会に対しての指定管理料がゼロ円であるが、問題は無いのか。

【答】 当会は、ファームステイを実施しており、その料金の中に維持費を盛り込んでいます。また、各種賞金等もあり、管理料は協議の上、無料となっている。

問 管理の期間を3年とした理由について。

【答】 初めての指定管理であり、様子を見るためである。

# その他

●東部辺地総合整備計画の策定について

葛川辺地総合整備計画の計画内容を含め、東部辺地総合整備計画を新たに作成し、ブロードバンドゼロ地域及び地上デジタル放送難視聴世帯の解消を図る。

(変更前) 市道(平)22号線道路改良工事、葛川診療所医療機器更新事業(変更後) 葛川診療所医療機器更新事業、光回線敷設整備及び共聴施設整備事業

【委員会質疑】

問 市道(平)22号線は、工事が完了したのか。

【答】 町会からの要望があった事業であるが、地権者から用地の協力を得られず、中止となった。

●平川市過疎地域自立促進計画の変更について

平川市過疎地域自立促進計画に、小中学校太陽光発電設備設置事業、光回線敷設整備及び辺地共聴施設整備事業を追加し、ブロードバンドゼロ地域

# 審議した議案

【委員会質疑】

問 当市は、農地法によって選ばれた市街化調整区域が多々あるが、それに関連があるのか。

【答】 関係はあるが、今回の一部改正は、緩和区域の見直しである。これま



県から譲与された新山地区農村公園

及び地上デジタル放送難視聴世帯の解消を図る。

【委員会質疑】

問 計画の実施年度について説明願う。

答 この計画は平成12年度に策定され、前期が平成12年度、平成16年度であり、終了している。平成17年度、平成21年度の後期計画が続いており、最終年度である平成21年度に行う予定。  
●製造の請負契約について

平川市電算システムの構築について請負契約を締結する。

名称 平川市電算システム構築事業

契約の相手方

青森市大字三内字丸山

393番地270 株式会社青森

電子計算センター 代表

取締役 葛西義明

請負代金

1億7808万円

期間

契約日の翌日から平成

23年3月25日まで

内容

28システムの構築とシステム稼動に必要な機器の導入

【委員会質疑】

問 契約の相手方の実績はどうなっている。

答 県内9町村(大間町・東通村・野辺地町・蓬田村・田舎館村・西目屋村・三戸町・田子町・佐井村)で導入している実績がある。

問 随意契約による契約ではないか。

答 この件は、入札にそぐわないという判断で、(一)プロポーザルを行い、その内容を十分精査し、総合的な判断で決定した。  
※プロポーザル：提案・提出などの意味。公共事業などでは、業者に技術提案書などを求め、発注者は、それを基に審査をする方式。

規約変更関係



●津軽広域連合規約の一

部変更について(平成22年4月1日から施行)

広域市町村圏計画及びふるさと市町村圏計画の廃止により、広域連合の処理する事務を変更するため。

指定管理者 関係

12施設が指定管理に!

問 平賀総合運動施設体育館だけが、1月1日からの期間となる理由は。

答 体育館は、指定管理に移行しやすい状況であり、その後体制を整えながら4月以降の本格的な以降に備える。

問 ひらかドームとテニスコート場の指定管理の考え方は。

答 早い時期の移行を考えているが、体育協会は立ち上がったてまだ間もないため、最低1年は今の状況で取り組んでいきたい。

問 平賀総合運動施設温

■指定管理の指定及び指定管理の期間一覧表

| 施設名称               | 指定管理者                | 期 間                  | 新・継 |
|--------------------|----------------------|----------------------|-----|
| 平川市平賀総合運動施設体育館     | 特定非営利活動法人平川市体育協会     | 平成22年1月1日～平成25年3月31日 | 新   |
| 平川市平賀総合運動施設グラウンド   | 特定非営利活動法人平川市体育協会     | 平成22年4月1日～平成25年3月31日 | 新   |
| 平川市平賀総合運動施設屋内温水プール | 特定非営利活動法人平川市体育協会     | 平成22年4月1日～平成25年3月31日 | 新   |
| 平川市屋内プール(ゆうえい館)    | 碓ヶ関開発株式会社            | 平成22年4月1日～平成25年3月31日 | 継   |
| 船岡集会所              | 久吉地区町会               | 平成22年4月1日～平成27年3月31日 | 継   |
| 平川市地域特産品生産施設       | 碓ヶ関開発株式会社            | 平成22年4月1日～平成27年3月31日 | 継   |
| 平川市碓ヶ関開所           | 碓ヶ関開発株式会社            | 平成22年4月1日～平成27年3月31日 | 継   |
| 平川市温泉交流館「御飯屋御殿」    | 碓ヶ関開発株式会社            | 平成22年4月1日～平成27年3月31日 | 継   |
| 平川市久吉温泉自然休暇村たけのこの里 | 碓ヶ関開発株式会社            | 平成22年4月1日～平成24年3月31日 | 継   |
| 平川市かわや棟            | 碓ヶ関開発株式会社            | 平成22年4月1日～平成27年3月31日 | 継   |
| 平川市文化観光館           | 碓ヶ関開発株式会社            | 平成22年4月1日～平成27年3月31日 | 継   |
| 平川市農家蔵の館           | 特定非営利活動法人尾上蔵保存利活用促進会 | 平成22年4月1日～平成25年3月31日 | 新   |

農家蔵の館は、条例案(3ページ)で質疑応答掲載。

補正予算

一般会計

予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億402万6000円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ169億8919万2000円とする。

歳入は、普通地方交付税決定により2億2704万8000円の増、国庫支出金は、介護・訓練等給付費の増額や子育て応援特別手当交付金の減額により1億5672万8000円の減。県支出金は介護・訓練等給付費の増額や高品質りんご安定出荷体制強化事業補助金の減額により847万2000円の増額。市債管理基金繰入金及び財政調整基金繰入金の繰り入れとりやめ、一部減額により2745万3000円の増額。建設機械整備事業および橋りょう整備事業に要する起債が県から許可されたことから、市債5990万円の増額が主な理由である。

歳出では、福祉灯油扶助事業費1440万円、

介護訓練給付費6121万8000円、耐震改修促進計画策定業務委託料683万6000円、猿賀公園整備工事費260万円を措置したこと。大坊小学校校舎屋根の塗装工事の入札減や、学校給食センター特別会計繰入金115万2000円の減額及び、各款を通じて人件費調整分として4292万8000円を減額したが、増額の主な理由である。

報等を瞬時に全市町村が受信できるようにする。

**問** 農地有効利用支援整備補助金の事業主体は。

**答** 平川土地改良区である。

**国民健康保険特別会計**

予算の総額に、歳入歳出それぞれ2980万8000円を追加し、総額41億6460万8000円とする。

主な内容は、歳入では療養給付費2950万3000円、繰越金96万9000円を追加し、繰入金66万4000円を減額する。歳出では、保険給付費3047万2000円を追加し、総務費66万4000円を減額する。

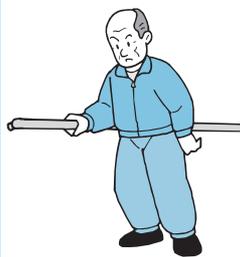
40歳以降に10年以上加入期間があり、年金の受給権を有する方である。

**介護保険特別会計**

予算の総額に、歳入歳出それぞれ7487万円を追加し、総額28億8916万2000円とする。

主な内容は、歳入では保険給付費の追加に対する負担分として、国庫支出金134万7000円、支払基金交付金202万円、県支出金84万2000円を追加し、保険給付費の財源不足と前年度国庫・県支出金等の返還のため繰入金7043万5000円を追加するほか、繰越金を53万7000円追加。歳出では、前年度介護給付費確定に伴う国・県支出金返還金6859万円、保険給付費673万2000円を追加しており、地域支援事業費が人件費関係55万円の減額である。

己負担、9割は介護保険で負担する制度。改修を行った業者に支払う。



**診療所特別会計**

予算の総額から、歳入歳出それぞれ1万6000円を減額し、総額3億7883万6000円とする。

**学校給食センター特別会計**

予算の総額から、歳入歳出それぞれ115万2000円を減額し、総額3億9221万3000円とする。

**尾上地区住宅団地温泉事業特別会計**

予算の総額に、歳入歳出それぞれ792万円を追加し、総額1844万6000円とする。

基金を繰り入れ、温泉に含まれている可燃性力入濃度を基準以下に抑えるための安全対策工事を実施する。

**水道事業会計**

収益的収支の収入について、一般会計補助金の繰出基準の精査等により178万円を増額し、支出について、修繕費を480万円増額し、借換債に係る支払利息を2486万4000円減額等で1996万円を減額する。

また、資本的収支の収入について、一般会計出資金の精査により179万1000円を増額し、支出では、借換債に係る企業償還金1539万1000円を増額する。

**下水道事業会計**

収益的収支の収入について、職員の給与費減額に伴い、一般会計補助金を47万9000円減額する。支出では、同額職員給与費を減額、借換債に係る支払利息を2990万5000円を減額等により2935万9000円を減額する。

また、資本的支出は、借換債に係る企業償還金1899万2000円を減額する。

**議員提出議案**

◆電源立地地域対策交付金制度の交付金延長等を求める意見書

本交付金は、水力発電施設周辺地域住民の福祉の向上と電源立地の円滑化に資することを目的とし、創設され、水力発電は、環境への負荷が少なく、再生可能なエネルギーとして安定供給に大きく貢献してきた。

よって、平成21年度末で交付期限を迎える水力交付金を平成23年度以降は、恒久的な制度とし、原子力発電交付金との格差を考慮し、交付条件の改善や事務手続きの簡素化を要望し、意見書を提出する。

**陳情書**

(配布)

- ・全法務省労働組合東北地方本部青森支部
- ・同 弘前分会
- 法務局職員の増員に関する陳情書



**問** 耐震改修促進計画策定業務委託料の対象地区はどこか。

**答** 市内全域の一般住宅である。

**問** 商工費の緊急保証制度資金利子助成補助金の補助内容について。

**答** 利息の1%を補助。

**問** 全国瞬時警報システム設置工事の内容。

**答** 国からの緊急地震速

**問** 退職者被保険者の資格要件について。

**答** 厚生年金、各種共済組合に20年以上または、

**問** 居宅介護住宅改修費負担金の支出先はどこか。

**答** 介護認定のある方が住宅の手摺り、段差、トイレ等の改修を行う場合上限20万円で、1割は自

## 議 決 一 覧 表

## 平成21年第4回定例会

| 議案<br>番号                           | 議 案 名                                  | 本 会 議 |      | 委 員 会 |      |      |
|------------------------------------|--|-------|------|-------|------|------|
|                                    |  | 結 果   | 備 考  | 付託先   | 結 果  | 備 考  |
| <b>【条例案・条例改正案】</b>                 |  |       |      |       |      |      |
| 125                                | 平川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例案       | 原案可決  | 全会一致 | 総務企画  | 原案可決 | 全会一致 |
| 126                                | 平川市都市計画法施行条例の一部を改正する条例案                | 原案可決  | 全会一致 | 建設経済  | 原案可決 | 全会一致 |
| 127                                | 平川市農村公園等条例の一部を改正する条例案                  | 原案可決  | 全会一致 | 建設経済  | 原案可決 | 全会一致 |
| 128                                | 平川市農家蔵の館条例案                            | 原案可決  | 全会一致 | 建設経済  | 原案可決 | 全会一致 |
| <b>【指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について】</b> |  |       |      |       |      |      |
| 129                                | 平川市平賀総合運動施設体育館                         | 原案可決  | 全会一致 | 教育民生  | 原案可決 | 全会一致 |
| 130                                | 平川市平賀総合運動施設グラウンド                       | 原案可決  | 全会一致 | 教育民生  | 原案可決 | 全会一致 |
| 131                                | 平川市平賀総合運動施設屋内温水プール                     | 原案可決  | 全会一致 | 教育民生  | 原案可決 | 全会一致 |
| 132                                | 平川市屋内プール（ゆうえい館）                        | 原案可決  | 全会一致 | 教育民生  | 原案可決 | 全会一致 |
| 133                                | 船岡集会所                                  | 原案可決  | 全会一致 | 総務企画  | 原案可決 | 全会一致 |
| 134                                | 平川市地域特産品生産施設                           | 原案可決  | 全会一致 | 総務企画  | 原案可決 | 全会一致 |
| 135                                | 平川市碓ヶ関開所                               | 原案可決  | 全会一致 | 総務企画  | 原案可決 | 全会一致 |
| 136                                | 平川市温泉交流館「御仮屋御殿」                        | 原案可決  | 全会一致 | 総務企画  | 原案可決 | 全会一致 |
| 137                                | 平川市久吉温泉自然休暇村たけのこの里                     | 原案可決  | 全会一致 | 総務企画  | 原案可決 | 全会一致 |
| 138                                | 平川市かわや棟                                | 原案可決  | 全会一致 | 総務企画  | 原案可決 | 全会一致 |
| 139                                | 平川市文化観光館                               | 原案可決  | 全会一致 | 総務企画  | 原案可決 | 全会一致 |
| 140                                | 平川市農家蔵の館                               | 原案可決  | 全会一致 | 建設経済  | 原案可決 | 全会一致 |
| <b>【その他】</b>                       |  |       |      |       |      |      |
| 141                                | 東部辺地総合整備計画の策定について                      | 原案可決  | 全会一致 | 総務企画  | 原案可決 | 全会一致 |
| 142                                | 平川市過疎地域自立促進計画の変更について                   | 原案可決  | 全会一致 | 総務企画  | 原案可決 | 全会一致 |
| 143                                | 製造の請負契約について                            | 原案可決  | 全会一致 | 総務企画  | 原案可決 | 全会一致 |
| <b>【補正予算案】</b>                     |  |       |      |       |      |      |
| 145                                | 平成21年度平川市一般会計補正予算案（第5号）                | 原案可決  | 全会一致 | 総務企画  | 原案可決 | 全会一致 |
| 146                                | 平成21年度平川市国民健康保険特別会計補正予算案（第2号）          | 原案可決  | 全会一致 | 教育民生  | 原案可決 | 全会一致 |
| 147                                | 平成21年度平川市介護保険特別会計補正予算案（第1号）            | 原案可決  | 全会一致 | 教育民生  | 原案可決 | 全会一致 |
| 148                                | 平成21年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計補正予算案（第2号） | 原案可決  | 全会一致 | 教育民生  | 原案可決 | 全会一致 |
| 149                                | 平成21年度平川市学校給食センター特別会計補正予算案（第1号）        | 原案可決  | 全会一致 | 教育民生  | 原案可決 | 全会一致 |
| 150                                | 平成21年度平川市尾上地区住宅団地温泉事業特別会計補正予算案（第1号）    | 原案可決  | 全会一致 | 総務企画  | 原案可決 | 全会一致 |
| 151                                | 平成21年度平川市水道事業会計補正予算案（第3号）              | 原案可決  | 全会一致 | 建設経済  | 原案可決 | 全会一致 |
| 152                                | 平成21年度平川市下水道事業会計補正予算案（第3号）             | 原案可決  | 全会一致 | 建設経済  | 原案可決 | 全会一致 |
| <b>【議員提出議案】</b>                    |  |       |      |       |      |      |
| 4                                  | 電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書の提出について    | 原案可決  | 全会一致 | 付託省略  |      |      |
| <b>【議長の辞職許可について】</b>               |  |       |      |       |      |      |
|                                    | 議長の辞職許可について                            | 許 可   | 起立採決 | 付託省略  |      |      |

## 平成22年第1回臨時会

| 議案<br>番号           | 議 案 名             | 本 会 議 |      | 委 員 会 |     |     |
|--------------------|-------------------|-------|------|-------|-----|-----|
|                    |                   | 結 果   | 備 考  | 付託先   | 結 果 | 備 考 |
| <b>【条例案・条例改正案】</b> |                   |       |      |       |     |     |
| 1                  | 平川市副市長の選任について     | 原案同意  | 全会一致 | 付託省略  |     |     |
| 2                  | 平川市教育委員会委員の任命について | 原案同意  | 全会一致 | 付託省略  |     |     |
| 3                  | 平川市教育委員会委員の任命について | 原案同意  | 全会一致 | 付託省略  |     |     |
| 4                  | 平川市監査委員の選任について    | 原案同意  | 全会一致 | 付託省略  |     |     |



平成21年第4回(12月)定例会 一般質問傍聴席

# 市政に関する一般質問より

●12月定例会では、14日(月)と15日(火)の2日間にわたり、11人の議員により一般質問が行われました。  
 ●ここでは質問及び答弁の内容を要約して掲載してあります。

一般質問は、議員が行政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について質問を行い、定例会ごとに行われます。議案の質疑とは別に通告が必要ですが、本市は、通告の受付順に一般質問を行っています。

## 1. 古川 敏夫 議員

〔二括質問方式〕

1. 市長期総合プランに掲げる「お互いが支え合う共生のまちづくり」について
2. 「うめんどいんひらかわ 食と産業まつり」の継続について

## 2. 大川 登 議員

〔二括質問方式〕

1. 開かれた行政(市政懇談会等)について
2. 経済対策(雇用経済対策の延長)について

## 3. 対馬 實 議員

〔二括質問方式〕

1. 新型インフルエンザについて

## 4. 齋藤 剛 議員

〔二括質問方式〕

1. 国道7号の沿線整備について
2. 市長の功績について

## 5. 佐々木 利正 議員

〔二問一答方式〕

1. 住民の生命と財産を守るための取り組みについて
2. 教育行政(児童・生徒の英語力、高校入試等)
3. 市政と施策(7月臨時会議決補正予算関係)

## 6. 福士 恵美子 議員

〔二括質問方式〕

1. 国の事業仕分けが与える市への影響
2. 子育て支援対策について
3. 乳がん検診について
4. おのえスポーツセンターのプールについて

## 7. 小田桐 信勝 議員

〔二問一答方式〕

1. 水道事業(水道管布設の考え方)について

## 8. 工藤 竹雄 議員

〔二括質問方式〕

1. 来年度予算編成で、今年度予算の確保は可能か
2. 市長の退任について

## 9. 齋藤 律子 議員

〔二問一答方式〕

1. 家庭ごみの減量化について
2. 民主党の公約「子ども手当」について
3. 介護保険制度について
4. 平川市の交通網について

## 10. 齋藤 政子 議員

〔二括質問方式〕

1. 農業問題(重点施策、農業所得向上プロジェクトチーム、リンゴ関係)について

## 11. 佐藤 雄 議員

〔二問一答方式〕

1. 政治姿勢について

# うめんどいひらかわを継続し、元気な平川市をPR!

○福祉行政(長期総合プラン基本目標) ○地域活性化(うめんどいひらかわ食と産業まつり)



古川 敏夫 議員

長期総合プランに掲げる基本目標の達成について

古川 平川市長長期総合プランに掲げる、まちづくり基本目標の「お互いに支え合う共生のまちづくり」に向かって、厳しい財政状況にもかかわらず、子供から高齢者に至るまでいろいろな施策を展開してきたことに対して高く評価する。社会情勢は、

ますます厳しくなり、政権交代によって、制度改革が不透明な状況であるが、今後望みたいことがある、お聞かせいただきたい。

市長 大変厳しい財政状況の中で、職員が一生懸命頑張っている、かなり評価してもよいと思っている。政権交代については、「コンクリートから人へ」の基本理念であるということ、私は逆にこれから社会保障費は充実されるのではないかと期待している。何と云っても高齢者と、弱者と言われる弱い人たちに温か

い手を伸べる平川市をつくっていかねばならないと考えている。

うめんどいひらかわ食と産業まつり

古川 平川市内3商工会青年部が主催者で、ひらかドームで開催した「うめんどいひらかわ食と産業まつり」は、津軽全域、秋田県からの来場者もあり、県内外に元気な平川市をPRできた。市内特産品の販路拡大、中小企業の振興・発展につながり、平川市の知名度向上、産業の活性化を図るために継続したいが予算がない。続けるために補助をお願いしたいが、市長の考えを伺いたい。

市長 自分で行って、素晴らしいイベントだと感じている。平川市の一つの大きなイベントとして育てていくべきであるかと判断している。最終的には予算査定があるが、実現に向けて努力したいと思っています。



# 開かれた行政に、市政懇談会は有意義だと考えているのか!

○開かれた行政(市政懇談会等) ○経済対策(雇用経済対策の延長)



大川 登 議員

市政懇談会について

大川 誰でも自由に意見が言える市政懇談会は、とても民主的に見えるが一方で自己中心型の意味不明な意見等が出る弊害を起こす。一連の労力を注いだ割に効果が見えない。各町会、行政委員や民生委員や連絡協議会があり、調整がされているのではないか。本庁舎にも「提案箱」が設置されている。それでも不十分である異議を問う。

市長 効果がないとは言えない。議員の方々や各機関の委員は、それぞれの立場で意見を発表できるが、関係のない多くの市民がいる。行政の主役はあくまでも市民である。年に1回くらいは市民の意見を聞くというのは非常に大切なことである。

これからも続け、市民の意見を行政に反映させていくべきと判断している。

市議会(議場) 映像公開について

大川 開かれた行政運営は市議会から始まるべき。市議会もインターネット公開し、議会の可視化・透明化により、議会の活性化につながるかと考えている。今の時代には不可欠ではないか。市長 経費については、概算費用で2400万円必要と言われている。第一に議会の問題で、議員方の判断を

仰ぐことが必要。どう対応するのか話をしていたきたい。

大川 2400万円の内容について。総務部長 映像費用と住民への配信システム(会議録本文検索、開催日検索、発言者検索等)が主である。

雇用経済対策の延長について

大川 未曾有の不況のもと、雇用が止まっている。先般の緊急雇用奨励金等の事業は継続・延長が望まれるが、市長の雇用対策についての考え方をお知らせ願う。

市長 現在の雇用情勢は大変である。平成22年度に向けても、市独自の対策、国・県の雇用対策についても当然対応していかなければいけないと判断している。

企画財政部長 平川市の緊急雇用創出事業は、平成21年度から平成23年度までの3年間実施する予定となっている。



今年度は文化センター1カ所で開催された市政懇談会

市民の健康を守るため、予防接種助成対象者を拡大へ！

○新型インフルエンザ



対馬 實 議員

新型インフルエンザ

対馬 ①前の議会でも取り上げたが、県内においても8月上旬から徐々にふえ、10月21日「注意報」が発令されたが、いまだにふえていると推定される。当市においても、9月2日に対策本部が設置されたが、現状をお知らせ願う。②予防接種の優先対象者と助成の内容。また、課税世帯への拡大についての考えは。③抗



※優先接種対象者：新型インフルエンザによる重症化が予想される方たち。

新型インフルエンザの予防接種は任意接種で、接種を受けるかどうかは本人または保護者が決めることとなります。

インフルエンザ薬が全国的に品薄となっているが、当市の今後の対応及び対応策について。  
市長 11月中旬ころが感染者数のピークで、現在は少し落ち着いているような状況である。  
市民生活部長 優先接種対象者は妊婦161人、基礎疾患を有する者2413人、1歳～小学校3年生2208人、1歳未満の乳児の保護者205人、小学校4年生～6年生と中学生と高校生に相当する年齢3045人、65歳以上の高齢者9189人、合計1万7221人を見込んでいます。優先接種対

象者の接種費用の助成は生活保護世帯と市民税非課税の世帯は国・県・市町村がそれぞれ分担し無料にすると示され、市の負担分を想定し、無料にすることに決めた。1回目、2回目合わせて6150円が無料である。優先接種対象者のうち、市民税課税の世帯についても、1回につき1200円を助成することとした。さらに、優先接種対象者以外にも、生活保護世帯以外にも、生活保護世帯以外にも、市民税非課税世帯についても同様に助成することにも決めた。事業費総額が6400万円程度になった。助成対象者以外については、今後の発生状況をみて判断したい。県の方に、これから流行の懸念があるのではないかと問い合わせたところ、治療薬の流通は十分で、県で備蓄している部分にも、まだ手をつけていない状況であるとのこと、医療体制については十分確保されていると判断している。

私有地に対しても、美化条例などを制定し、行政で何とかできないか！

○国道7号の沿線整備○市長の功績



齋藤 剛 議員

国道7号の沿線にある私有財産を何とかできないものか

齋藤 ①国道7号から来ると、大坊地区（平賀地域）にある旧養豚場は、平川市の入り口的な位置にある。建築年数もかなり経過し、危険である。あのままでもいいのか。②



国道7号からも見える、大坊地区の旧養豚場跡地。建物はいつ崩れ落ちてもおかしくない状況。「立入禁止」の張り紙は、地元で設置した。

最終的に行政の負担となるのであれば、税金である。市では課税し、税金を徴収できているのか。  
②湯ノ沢地区（碓ヶ間地域）にある別荘地も同様に廃墟のようである。美化条例などつくって、強制撤去のような方法ができないものか。  
市長 養豚をやっていた時は、もつと衛生上悪かった。所有者は県外の法人で、大坊からも要望書が出ており、それに対して撤去・安全対策をしてほしいと要請しているが、実現されないまま今に至っている。  
3つの法人が所有しているが、住所が不明である。所有者を明確にし、撤去について指導する。応じない場合は、

弁護士

弁護士の意見を聞いて判断したい。条例というよりも、その手段を講じながら、これからの平川市の景観条例は、作成に向けて努力していきたい。企画財政部長 この施設の所有者の税の状況については、個人及び法人の個人的な行政情報であるため、回答を控えさせていただきます。

市長の功績について

齋藤 ひらかドームの建設や、道路の整備、平川病院の問題に対する大きな決断や、教育施設の充実、3町村の合併に対する市長の情熱、健全財政のための構築策、市職員の指導など、例を挙げれば切りがない。本当にありがとうございます。市長 皆様方の御協力によりできたことである。これからは、一市民として、平川市発展のために努力していく所存である。

### 住民の生命と財産を守るべく、行政も足を使って取り組むべき！

#### ○住民の生命と財産を守る取り組み○教育行政○市財政と施策



佐々木利正 議員

**健診率向上のために郵便による健診を**  
佐々木 今年の健診率はどれくらいか。  
市民生活部長 平成20年度特定健診受診率は32.3%で、今年は35%に上げるため、回数をふやして、まだ行っている。  
佐々木 時間的に制約があるのが一番の大きな原因ではないか。郵便によるがん検診等行っている機関もあるので、平川市としてできないか。



天井に取り付けた火災警報器：平成16年の消防法の改正により、全住宅について住宅用火災警報器の設置が義務化された。新築の住宅は平成18年6月1日まで、既存住宅については平川市火災予防条例により、平成20年の6月1日までに設置することとなっていたが、いまだに設置率は低い。

市民生活部長 郵便による検診は、本人と検査機関の関係となるので、検査結果の管理が難しいし、費用が割高である。現在市で行っている血圧や心電図等と一緒に、その人の健康を管理するという作業が、より効果があるのではないかと考えている。  
**ひとり暮らしや高齢者世帯への火災予防対策**  
佐々木 予防対策の取り組みについて。  
消防長 毎年、高齢者ひとり暮らし世帯の防火診断（住宅用火災警報器の設置、維持管理の状況、ガス、暖房器具などの点検）をしている。  
佐々木 ①火災警報器の設置率と、設置には、お金がかかり大変である。助成制度はあるのか。  
消防長 平賀・尾上地域では39.8%、碓ヶ関地域では36.6%であり、市の助成制度はない。  
佐々木 巡回等で、一声かけるなど、足を使って気配りして、火災予防に取り組むべき。

**入電から救急車で病院に収容される時間について**  
佐々木 1分の差が約10%死に近づくと言われている。全国平均より2分30秒も遅い平川市は救急搬送について、危機的な状況であると言えるが、打開策はあるのか。  
市長 救急の受け入れ体制は、黒石病院、弘前地区にも負担金を出している。早く行ける道路整備や、市内でも民間の開業医の指定についての努力をしていきたい。

### 親子の触れ合いを図るため、ブックスタートを行うべき！

#### ○国の事業仕分け○子育て支援対策○乳がん検診○おのえスポーツセンター



福士恵美子 議員

**国の事業仕分けによる市への影響**  
福士 事業仕分け47事業の中には、補助金の削減や廃止となったものもあり、当市に影響があるものもあると思うが、その対応をどう考えているか。  
市長 農道整備事業が入っているが、現段階では当市の農道がだめなのか、よいか明確にできない。今、陳情をつくらせており、その対応は



※ブックスタート：1992年に英国で始まった運動。豊かな心を育むため、一人一人の赤ちゃんと保護者に絵本を開く楽しい体験と一緒に、絵本を手渡す活動。具体的には0歳児検診などで、読み聞かせや、図書館の利用の仕方の説明があり、絵本の入ったブックスタート・バックが渡されたりしている。

はつきりしていないが、今後どうなるのか推移を見ていきたい。  
**子育て支援事業としてブックスタートを**  
福士 親と子の心と言葉を通わせ、本に興味を持つきっかけと親子の触れ合いを図るためブックスタートをやるべきと思うが、市長の考え方を伺う。  
教育委員会事務局長 現在、平川市子ども読書活動推進計画を策定中。図書館では4カ月健診時に絵本の紹介、図書館の活用など、保護者を中心にPRを行っている。県内で6市町村がブックス

タートという形で絵本の配布を行っており、効果があると考えているので、前向きに検討したい。  
**乳がん検診の対象者を拡大し、早期発見に**  
福士 30代で乳がんで亡くなった方もいる。現在の対象者40歳からではなく、20代〜30代の若い世代も検診できるように、自己負担のない無料化とし、早期発見・早期治療を目指すべきではないかと思うが、市の考え方を示せ。  
市民生活部長 発症しやすい年齢ということで、市では40歳から、500円の自己負担をいただいている。30代まで対象を広げれば、早期発見の効果がでてくると予想されるが、財政的な負担が伴うことなので、関係機関と協議しながら進めていきたい。無料化については、ほかのがん検診への影響や、自己の健康管理という部分もあり、考えていない。

1軒でも、それに見合った補助を検討すべきではないか！

○水道事業



小田桐信勝 議員

水道管布設に対しての市の考え方を検討できないか

小田桐 下水道管が布設されているのに、上水道管が布設されていないのはなぜか。  
市長 集落から離れた所  
に後から家を建てた場合



八幡崎地区の水道管布設工事の様子(融雪作業)

いものを除いて本管を敷設している。下水道工事が後発事業であるため、下水道管が入っていない、本管の水道管が布設されていない所がある。  
小田桐 以前「3戸あれば200万円の補助を出して工事やる。」と聞いた。その

根拠を説明せよ。  
水道部長 平成18年4月1日から統一した制度として、配管布設工事実施要綱で「3戸以上、新たに新築を計画している場合に」について、200万円を限度に助成する」と定めた。10年間の使用料との費用対効果、収益ということを決めた経緯がある。  
小田桐 3戸で200万円という基本があるならば、1戸で66万6000円というふうな、それに見合った補助は考えてもいいのではないか。  
市長 今まで個人負担でやってきたものを、違う取り扱い方法になると、市民の不公平感と、行政に対する不信感を与えることになるので、考えてもいないし、無理である。  
小田桐 1軒でも、今後はそれに見合った補助を検討していただきたい。  
市長 補助を出すことで、急激に普及率が上がる可能性があるかと判断された場合は、みんなで検討しなければならぬ。

来年度予算は、国の政権交代による影響はあるのか！

○平成22年度予算編成○市長の退任



工藤 竹雄 議員

平成22年度予算、前年度予算並みに確保可能か

工藤 ①国の事業仕分けで凍結、廃止、削減、見直し、地方移管など、農林水産省関係が多い中、第1次産業中心の当市に与える影響は大きい。前年度並みの予算確保はできるのか。②産学官連携事業について。  
市長 農道整備は、全部廃止ではないので、県にお願している。県も

国の事業仕分けにより、「廃止」となった農道整備事業は、新設された「農山漁村地域整備交付金」等で整備されていく予定。



写真：新規整備予定の農道(沖館地区)

統合して、全域で整備する。ために、財政的にも、提供システムの法についても調査している。平

成20年度の視察調査、平成21年度は視察を踏まえて実証実験をし、今年度中に方向性を出すこととなっており、平川市には、どういった防災システムがよいのか検討することとなっている。  
平川市の将来を見据えて  
工藤 ①市長の退任について心境を伺う。②職員に対し、期待することやお願いすることをお聞かせ願う。  
市長 工藤議員からは大変厳しい質問がされてきたが、そのことによつて私も職員も勉強してきた。平川市がどこへ出ても恥ずかしくない市になってきたと感謝している。  
市民のため、平川市の発展のために知恵を出し合つて頑張ることが重要。議員も一緒に頑張ってもらうなければいけない。職員にやる気をもたせ、一層頑張ってもらいたい。

# 大きな割合を占める紙ごみを減らし、資源化促進へ！

○家庭ごみの減量化○民主党の公約「子ども手当」○介護保険制度○消防行政○市内交通網



齋藤 律子 議員

## 家庭ごみ有料化の実績と評価、今後の課題

齋藤 ①平成20年度は可燃ごみ、不燃ごみともに前年度対比25%の減で、資源ごみは25・8%も増加したという結果である。今後は、一番大きな割合を占める紙ごみを、いかに資源化していくのかが、ごみの減量化につながる。と考えるが、今後の施策をお知らせ願う。②「こみゼロキャンペーン」は、継続が必要だと思いが、今後どのような形で続けていくのか、考え方を問う。



市民生活部長 紙ごみ

は分別の仕方が複雑なところがあり、分別のポイントなどをわかりやすく市民にお知らせし、資源ごみを通常の収集日に出せない人のために3地域に1カ所ずつ常設の回収拠点を検討したい。今年初めて、ごみや環境に対する意識啓発として、「こみゼロキャンペーン」を開催したが、今後もワークショップの内容の充実、市内の子供たちの絵画展など、市民参加型のイベントとして続けていきたい。

## 「子ども手当」財源である扶養控除廃止の影響は

齋藤 増税になる人と、その影響額は幾らか。企画財政部長 平成21年度の課税ベースで、1万1490人のうち4630人、40・3%が影響を受けると算定される。1億8360万円が、市民税と県民税で増税されることになる。平川市への市民税は、約1億1000

0万円の増となる。

## 介護認定の実態と問題点

齋藤 ①介護認定は、申請から結果が出るまで30日以内と規定されているが、2ヵ月以上かかる例をよく聞く。規定どおりにいかない現状の問題点には。②要介護認定調査員が4月から1名減になり、職員も大変であると思う。市民に迷惑がかかっている現状もあり、増員すべきではないか。市民生活部長 主治医意見書を添付して2次判定に提出しなければならぬが、被保険者の状態が安定しない等の事情により、到着が遅れる場合は、認定が大幅に遅れる実態がある。係、課の中で協力体制を得て、きちんと2次判定につなげている。利用者には不便をかけている例は、4月以降はないと考えている。齋藤 医療機関の問題も調査しているが、市の体制を強化してほしい。

# つる割れリンゴ対策に全力を挙げて取り組むべき！

○農業問題(平成22年度重点施策・農業向上プロジェクトチーム・つる割れリンゴ対策・トップセールス



齋藤 政子 議員

## 平成22年度農業の重点施策は何か

齋藤 平川市独自の事業計画はあるのか。また、推奨する品目は何か。経済部長 平成21年度予算化しており、平成22年度も予算要望を考えている事業の中で、推奨品目のリンゴについては、りんご共同防除組織支援事業として、防除組織へス



ピードスプレーヤーの導入に對しての補助。園地づくりの事業(改植・防風網設置・防霜ファン設置)に對する助成。高収益作物の生産の安定を図るために、夏秋イチゴのハウス栽培に關しての補助は、平成21年度で県の補助が終わるが、足腰の強い農業を展開させるために、新年度は経済部としては、市単独でも対応していきたいと考えている。

## つる割れリンゴ対策

齋藤 今後のつる割れ対策をどう考えているのか。りんご協会、りんご研究所、普及指導室やJAとの横の連携をとっているのか。市長 関係機関が一体となつて、今取り組んでいる。結果が出るのは、もう少し時間がかかると推察される。齋藤 5年後にもなつて答えが出てもだめ。つる割れを何とかしなければ、みんな考えていかなければだめである。市長 当市はリンゴが主体なので、当然対策を講じて、考えていかなければならない。

## 農業向上プロジェクトチームとは

齋藤 農政審議会の会長を代表として、結成されたと思うが、内容について。経済部長 10月に、私をリーダーとして農林課等10名で構成し、農業所得向上に向けた政策を検討するチームである。具体的な目標値をこれから定めるといふ状態である。

## トップセールス

齋藤 今回は、重点をどこに置くのか。経済部長 販売だけでなく市場関係者との情報交換も考慮した計画を調整中。管内の農協等と連携をとりながら、限られた予算を有効に活用し、販売促進活動を行う予定。

JA津軽みらい総代会での議題は、議会軽視ではないのか

○政治姿勢について



佐藤 雄 議員

津軽みらい農協総代会時のカントリーエレベーターの計画に

関して 佐藤 9月19日に行われた総代会において、平成21年度から平成23年度の3カ年計画で、カントリーエレベーターに関する質問に対し、組合長から行政が事業主体で行う旨の



議会でも、環境問題で何度か取り上げられたことがある平賀地区にあるカントリーエレベーター

「事業主体を、行政にお願いしている。」という発言をしたと聞いている。仮に市が事業主体になるとすれば、当然、非常に大きな問題である。財政的に40億円となれば、仮に半分補助があつても20億円の財政負担が出る。そう簡単な問題ではないので、当然議員の皆様方と協議して判断することが必要である。私は1回も「行政が事業主体でやる。」という発言をした覚えはない。

副市長 7月に、組合長を始め10名で要望に来たが、「正式な要望書、計画書を持ってこないのか。」と質問したが、その後まだ来ていない。佐藤 正式な要望書もないのに、農協の総代会に提案された議題は、一体何になるのか。市長 要望をしているので、そういう期待感を持って書いたのかも知れないが、佐藤議員の言うことも理解できる。大きな問題なので、正直、こういう書き方というのはどうかなという気もする。佐藤 議会を軽視した行為ではないかと思っていたが、そうでないように受けとめた。

教育民生常任委員会

調査報告 所管事務

● 調査期日  
平成22年2月16日(火)

● 調査場所・目的  
【(株)アップルファクトリージャパン】 学校給食等のカントリーご利用状況

【平川市屋内プール(ゆづえい館)】 利用状況、天井耐震補強工事の状況調査

● 調査内容  
現地視察調査

● 出席委員  
佐々木利正、齋藤正明、福土恵美子、佐藤雄、齋藤 律子、葛西清仁、大川 登 (計7名)

● 欠席委員  
小田桐信勝

ゆづえい館：平成10年オープン。日本水泳連盟公認プールとして、大会が開催される。



● 出席者 (株)アップルファクトリージャパン 代表取締役社長 大湯知己、教育委員会事務局 長 櫻庭正紀、平賀 総合運動施設長 今 英明、同管理係長中嶋 民保、議事事務局主幹 兼議事係長 清藤哲彦、主事 黒滝奈穂子 (計6名)

● 調査結果  
【(株)アップルファクトリージャパン】 食ベやすくカットした青森リンゴを、特殊処理で酸化を抑え、変色せずに手軽に衛生的に食べられるカットりんごを完成させた。リンゴのほか、各種業務用カットフルーツにも応用している。

利用先・業務用(学校・福祉施設、保育・幼稚園の給食用デザート等) 所感：徹底した衛生管理、すべて手作業、受注してからの生産という可能性と特殊性を、さらに内外にアピールして事業の拡大につなげてほしい。▼カットりんご

【ゆづえい館】 工事費 1588万円 工期 平成21年10月22日～平成22年3月12日 利用状況 平成21年度(4～12月)月平均入場者数は子供以下321人、大人566人 所感 耐震補強という点で、工事量はかなり多い。目に見える部分は少ないが、今後は安心して泳げることと思われる。ゆづえい館の休館は3月末までとなっているが、工事は既に終了しているようなので、検査、引き渡しをすみやかに、早期の開館、業務の再開を望む。 また、今後利用者拡大に向けての努力を期待する。



△保健所の審査では97点の成績をほめるクリーンな施設内

# 新議長あいさつ、新議員紹介

## 新議員の顔ぶれ



1 おおさわ としひこ  
大澤 敏彦議員  
〔町居〕〔新〕  
建設経済常任委員会



2 やまだ なおと  
山田 尚人議員  
〔唐竹〕〔新〕  
建設経済常任委員会

※〔 〕内は行政区、【 】内は新人をあらわす。

平成21年1月17日告示の第1区（旧平賀町の区域）補欠選挙に立候補した2名が当選し、当市議会議員は24名となりました。よろしくお願いたします。任期は、残任期間であるため、平成23年7月31日までとなります。なお、1番から17番までの議席番号は、順に繰り上がります。

市民の皆さまには、日頃から市議会に對しまして、ご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

私は去る12月定例会において、議員各位のご推挙により、平川市第三代目の議長に就任いたしました。微力ではございますが、円滑な議会運営に努め、市民の皆さまの負託に



小田桐信勝 議長

一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

応えて参りたいと存じます。本市を取り巻く状況は、依然として厳しい財政状況は元より、地方分権や政権交代等により大きく変わりつつあります。さらなる行財政改革を推進し、少子高齢化に柔軟かつ的確に対応していかねればなりません。議会のチェック機能の充実を図り、市民の皆さまの議会活動の期待に応えて参りたいと存じますので、

### 議長あいさつ

平成21年第4回定例会最終日（12月16日）に、小笠原前議長の辞職が起立多数で許可されました。その後、佐藤副議長が議長の代理を務め、議長の選挙を行い、単記無記名による投票の結果、有効投票数22票のうち、15票を獲得し小田桐議員が当選しました。

## 平成22年 第1回臨時会

# 大川市政新体制始動！



大川喜代治 市長

### ●選挙管理委員及び同補充員の選挙の結果

#### 選挙管理委員

| 氏名     | 住所          |
|--------|-------------|
| 内山 久人  | 唐竹苅原58番地 2  |
| 小田原喜佐夫 | 碓ヶ関112番地 5  |
| 今井 貞勝  | 松館井ノ上28番地 6 |
| 佐藤 正道  | 金屋上松元34番地 4 |

#### 選挙管理委員補充員

| 氏名       | 住所             |
|----------|----------------|
| 1位 大湯 勝  | 碓ヶ関古懸堂ノ上99番地 3 |
| 2位 船木 忠博 | 新山松橋127番地 5    |
| 3位 葛西 弘  | 新屋栄館266        |
| 4位 中畑 政彦 | 碓ヶ関鯨森35番地11    |

補充員は、選挙管理委員が欠けた時に1位から順番に、選挙管理委員となります。



佐藤 一行氏

●平川市副市長の選任について同意  
氏名…佐藤 一行  
住所…新屋栄館176番地1  
生年月日…昭和22年1月4日

●平川市監査委員の選任に同意  
氏名…古川 敏明  
住所…荒田下駒田169番地1  
生年月日…昭和25年2月26日

## 副市長に 佐藤一行氏

●平川市副市長の選任について同意  
氏名…佐藤 一行  
住所…新屋栄館176番地1  
生年月日…昭和22年1月4日

●平川市教育委員会委員の任命に同意（再任）  
氏名…佐藤 満廣  
住所…高木原富223番地7  
生年月日…昭和15年2月20日

●平川市副市長の選任について同意  
氏名…小山西 柳一  
住所…柏木町藤山31番地2  
生年月日…昭和30年2月25日

大川喜代治新市長の招集により、平成22年第1回平川市議会臨時会が2月25日開催されました。選挙管理委員会委員の選挙、同補充員の選挙が行われ、提出された人事案件4件については、原案にすべて同意し、大川市長の新体制がスタートしました。

# みなさまからの声 Part2

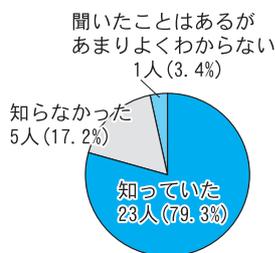
平成20年第3回（9月）定例会から1年間にわたり、傍聴者の皆様からの率直な意見をいただき、まことにありがとうございます。

議会だより第16号ではPart1として、アンケート項目の1～5まで掲載しました。第17号では、前回掲載できなかったアンケート項目6からお知らせします。（ご意見、ご感想は、抜粋し要約している場合があります。）

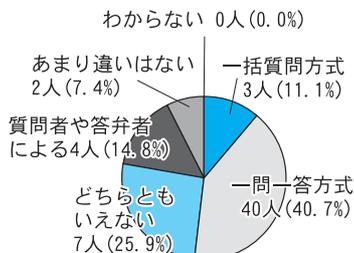
これからも分かりやすい議会を目指し努力していきたいと思っております。今後もお気軽に御意見等をお寄せください。ご協力感謝いたします。

## 6. 一般質問の方法について

(1) 質問の方法に「※一括質問方式」と「※一問一答方式」があるのをご存知ですか。



(2) 「一括質問方式」と「一問一答方式」では、どちらがわかりやすいですか。



アンケート調査期間：

平成20年9月定例会から  
平成21年6月定例会まで

対象者：一般質問傍聴者

延べ傍聴者数：126人

実質傍聴者数：60人

(同名を除く)

アンケート回答者数  
：31人 (51.7%)

$\frac{\text{回答者数}}{\text{実質傍聴者数}} \times 100$

**一括質問方式とは**：質問者（議員）は、壇上より全ての質問を一括で行い、理事者も一括で答弁を行います。その後、時間の許す限り質問し、理事者が答弁します。

**一問一答方式とは**：質問者（議員）は、自席において質問を行い、質問項目が複数の場合は1項目ごとに区切り、質問と答弁を交互に続ける方法です。

### ～質問方法について、ご意見があれば自由に記入してください。～

- 最初の質問に関しては準備しているので良いが、再質問となると迫力に欠け、つまこみが不十分だと感じた（全員でないが、そういう人もいる）。議論白熱するような議論があってもよいのでは。（9月）
- 時間の無駄を省いて、一問一答式が良い（多く聞ける）。（9月）
- できれば、一問一答方式で、全議員がやってくれればわかりやすいのではないかなーと思いますが、いかがでしょうか？（9月）
- 質問するに当たってもっと客観的な資料を入手してから質問すること（勉強してから）。人にもよるが、もっと焦点をしぼってから質問しないと何を質問しているのかははっきりしない場合がある。中には大変すばらしい追求をする議員がいてそれを聞くのが楽しみで傍聴しに来ている面もある。どちらかと言えば、一問一答方式は焦点がはっきりして思考整理しやすい。（9月）
- 参与からの答弁はマイクが非常に聞こえない。議長、質問者、理事者の席からはマイクは通るが参与席（部長席）は通らないのは何故か？（9月）
- 質問も答えにもすべて以前から打ち合せしているように感じ納得いかない。なんの解決にもならず、市の発展にならない。（12月）
- どちらかという、一問一答方式の方が、ひとつずつ話をして答弁するので、わかりやすい。（6月）
- 質問内容による。（6月）

**コメント**：平川市議会では、議員が質問方式を選べる選択制を採用していますが、議会運営委員会では、アンケート結果や各自治体議会を参考に、統一した方式を検討しています。傍聴者にとって、わかりやすく、白熱して盛り上がるのは一問一答方式ということがわかります。いずれにせよ、理事者側・議員側も勉強して質問・答弁をし「わかりやすく、簡潔に」が第一であることを忘れないように、これからも頑張ります。

# アンケート御協力 ありがとうございました。



## 7. 議場内について

(1)環境はどうか。

- ①暑かった 3人 (11.1%)    ②ちょうどよかった 21人 (77.8%)    ③涼しかった 2人 (7.4%)
- ④寒かった 0人 (0.0%)    ⑤その他 1人 (3.7%) ・椅子の配列を考えて欲しい。(9月)

→今後も、過ごしやすい環境に気を配っていきたいと思います。固定式の椅子は動かせないのですが、可動式の椅子もあるので対応できる部分もあると考えています。

(2)議員の姿勢・態度について

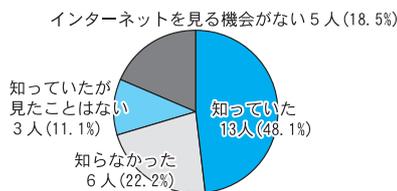
- ・一年の中、一度も質問しない議員がいるように思う。本気で市民のために活動しているなら積極的な発言で示してほしい。(9月)
- ・質問に対する答えた人のメモをとっている人は少ない。市民から選ばれた議員です。もっと質問する人があればいいのではないのでしょうか!! 同じ議員ばかりでなく……。 (9月)  
→一般質問だけが、議員活動ではありませんが、そう思われることも事実です。
- ・良いと思う。今後もこの様に続けてもらいたい。(9月)    ・以前は議員の雑音がありましたが、今はないようですが、なくて当然です。(9月)    ・厳しゆくであった。(9月)    ・明るい雰囲気の中かに議事が進み、礼儀正しくホッとする。(9月)  
→ありがとうございます。はげみになります。
- ・緊張感がなくなってきた。(9月)    ・悪い。身が入ってない。(12月)    ・答弁する人以外は、ほとんど眠っている。(12月)    ・なるべく原稿を自分の体に入れ込み、目を離して、堂々と質問してほしい。(3月)
- ・議員のいねわり23名の内12人してた(6月)  
→楽しいご意見、ありがとうございます。議員の皆様も、この結果を受けとめて、よい方向に向かっていきたいと思えます。

(3)理事者の姿勢・態度について

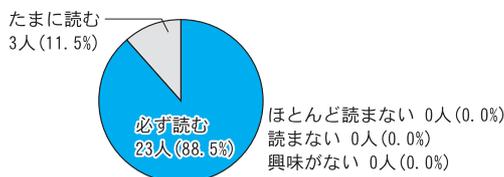
- ・部長答弁で下ばかり向き、聞きづらい。言語不明瞭。姿勢を伸ばして、前を向いて大きな声で堂々と答弁してほしい。(6月、9月)    ・一生懸命さはよく分かるので、もっと迫力をもって発言する事(市長以外)。(9月)    ・答弁が聞こえづらい人がいる。(3月)  
→マイクの位置や高さも関係あるので、議場の再構築の際は、もっと聞きやすい方式を考えたいと思います。
- ・書いたのを読んでるだけ 身を入れて仕事して下さい。(6月)    ・理事者もメモをとっているのが、あまり見られない。(9月)    ・あくび、眠っている理事者もいる。(12月、3月)  
→身を引き締めて臨むようお願いします。
- ・非常に良いと思う。(9月)    ・厳しゆくであった。(9月)    ・よいと思います。(9月)    ・よいです。教育長の答弁が、はっきりしてとてもよわかりました。(3月)

## 8. 議会広報「ひらかわ議会だより」について

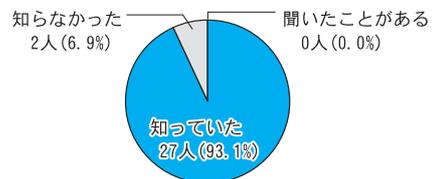
(1)「ひらかわ議会だより」を年4回発行していますが、知っていましたか。



「①知っていた」と答えた方にお聞きします。「ひらかわ議会だより」を読んでいますか。



(2)インターネット(平川市ホームページ)で「議会だより」を掲載していることを知っていましたか。



### コメント

議会を傍聴する方たちなので、「議会だより」も、読んでいただいていることがわかります。毎戸に配布し、公共施設に設置していますが、インターネットにも掲載しています。傍聴者の方は、インターネットを見る環境にない方が多いのですが、傍聴できない方や「議会だより」を見る機会のない方のためにも、今後も情報の充実を図っていききたいと思います。

# ご意見・ご感想 など

- ・答弁者は市長が多いが、各部長の詳しい答弁がもっとあっても良いのではないかと。今回（9月）は傍聴者が少ないと思った。議会を傍聴すると、市行政の様子が分かり大変勉強になる。多くの方々の傍聴を進めたい。（9月）
- ・毎回傍聴に出席される方が少なくなった事 感じていますので、PRを考えてみて下さい。（9月）
- ・「議会だより」に書くだけでなく、傍聴者をふやすもっといい方法はないのでしょうか？市民がみんなで考えて、行政にもっと感心をもって！！（6月）→中学生以上の生徒も傍聴できますので、未来の平川市を担う若者に、学校を通してPRし、お知らせしていきたいと考えています。
- ・住民のだれもがインターネットで見られるか、皆に見られるわかりやすい情報にしてほしい。（12月）  
→議会は平日の午前10時から午後5時の間（会議規則第9条、第11条）に行うため、仕事のある方は、興味、関心があってもなかなか傍聴することは難しいと思います。今後は、インターネットでの配信等を含めて検討課題であるといえます。しかし、費用のかかることですので、すぐには無理ですが、必要とを感じる方がいらっしゃるようになりました。

- ・ややもすれば、我田引水的な質問者もあると思いますので、大局的にしてもらいたい（特定区域）。（9月）
- ・開かれた議会、わかりやすい議会のよりよいあり方として考えられる事は、議会で話すだけでなく、地域に向かい住民の声を聞く事が大事。議会報告会のような形で、行政・議員とでの話し合いをすることが、より一層納得、説得ができるのではないかと。議員はもっと住民の中に入っていった状況を見極める事。行政も議会も住民の声を無視してはいけません。前向きな姿勢を望む。（9月）  
→市民の代表である議員としての課題であると大いに感じます。貴重な御意見ありがとうございました。

- ・質問する人と、答える人だけの話し合いでなく、議場にいる人に、みんなにわかるようにしてほしい。（9月）→そのとおりです。努力いたします。
- ・議会だよりで、議員の出席状況を明らかにしてほしい。選ばれた方で市民の見本と言うか、模範になる方々ですから任務と役割を考えると重視したい。（9月）→当市は、委員会、本会議を含めてほぼ全員出席しています。そのため、議会広報特別委員会では掲載を見送りました。
- ・議会の時間、議員態度の悪さ、あきれ。税金のむだ。住民の代表の役目がなっていない。（12月）→会派の会議が長引き、時間どおりに開会できない時がありました。大変申し訳ありませんでした。以降、気をつけております。
- ・議会開会、閉会の時間は決まっているのか。以前、午後の議事案がまだ残っているのに3時で終わった。仕事を調整して来た時もあった。（6月）→会議は議長が会議に諮って散会や延会、中止、休憩をします。都合をつけて傍聴にいらしたのに、大変申しわけありませんでした。

議会を傍聴している方は、市政に関心が高い人たちで、厳しい御意見は、平川市をよりよくしたいという気持ちであらわれています。真摯に受けとめたいと思います。

傍聴できない人のためにも、今後は情報提供の仕方も検討しなければなりません。しかし、実際に傍聴するというのも貴重な体験です。議会を傍聴してみませんか？

## お知らせ

## ～平川市議会会派の動き～

2月15日に、親政会の役員変更がありました。

| 役職名 | 旧役員名  | 新役員名  |
|-----|-------|-------|
| 会長  | 小田桐信勝 | 對馬 實  |
| 幹事長 | 田中 友彦 | 工藤 竹雄 |
| 監事  | 齋藤 正明 | 齋藤 政子 |
| 監事  | 佐々木利正 | 小野 長道 |
| 会計  | 對馬 實  | 佐々木利正 |

現在の会派別人数 平成22年2月15日現在

| 会派名 | 人数  | 備考         |
|-----|-----|------------|
| 親政会 | 14名 |            |
| 正進会 | 5名  |            |
| 無会派 | 5名  | (うち政党所属2名) |

## \* 議会の動き \*

### 平成21年

- 8月1日 北限に観る蓮の花まつり・足湯の開湯式に議長ほか出席
- 〃日 平成21年度「弘前ねぶたまつり出陣式」に議長出席（弘前市）
- 2日 「平川ねぶたまつり2009」テープカットに議長出席
- 3日 〃 表彰式に議長出席
- 5日 第36回おのえねぶた合同運行表彰式に議長出席
- 9日 第64回市町村対抗青森県民体育大会の慰労並びに反省会に議長出席
- 11日 黒石警察署殉職警察官慰霊祭及び偲ぶ会に議長出席（黒石市）
- 15日 碓ヶ関御関所祭りに議長ほか出席
- 16日 第29回平賀登山囃子大会に議長出席
- 〃日 第15回櫻田誠一杯全国演歌大賞・懇親会に議長出席
- 18日 平成21年度平川市戦没者追悼式に議長出席
- 〃日 ザクリー先生歓迎会に議長出席
- 20日 青森県市議会議長会事務局長会議に事務局長出席
- 21日 議会広報特別委員会
- 23日 第4回平川市小学生水泳競技大会に教育民生常任委員会委員長出席
- 28日 弘南鉄道活性化支援協議会総会に議長出席
- 31日 議会運営委員会
- 9月1日 むつ市制施行50周年・合併5周年記念式典に議長、事務局長出席（むつ市）
- 2日 議会広報特別委員会
- 6日 平川市労働福祉大運動会に議長出席
- 〃日 第28回チャリティー商工会員とその家族、従業員慰安会並びに永年勤続者表彰式に議長出席
- 13日 緑青園「7・8・9月期誕生会&秋季大運動会」に議長ほか出席
- 18日 平川市防犯協会通常総会に議長出席
- 19日 第1回津軽みらい農協通常総代会に副議長出席
- 21日 平川市長寿福祉大会に教育民生常任委員会委員長ほか出席
- 27日 ごみゼロ市民大会に議長ほか出席
- 10月3日 猿賀神社例祭に議長出席
- 〃日 平賀ライオンズクラブ結成40周年記念祝賀会に議長出席
- 5日 国道454号整備促進の要望書提出に議長、事務局次長補佐出席（鹿角市）
- 13日 青森県市議会議員研修会（八戸市）
- 15日 東京都稲城議会民主党視察研修のため来庁 議長対応
- 〃日 第4回平川市学校音楽発表会に議長出席
- 17日 尾上総合高校創立10周年記念式典及び祝賀会に議長ほか出席
- 18日 新型可搬式ポンプ積載車更新祝賀会に副議長出席
- 25日 平成21年度自衛隊記念日行事に議長出席（弘前市）
- 28日 第2回平川市自衛隊協定会総会に議長出席
- 30日 原子燃料サイクル意見交換会に議長出席
- 11月4日 知事を囲む懇談会に議長、事務局長出席（青森市）
- 10日 岩手県陸前高田市議会議報特別委員会視察研修のため来庁 議会広報特別委員会正副委員長対応
- 〃日 平成21年交通安全青森県民大会受賞祝賀会に議長出席（黒石市）
- 12日 平成21年度青森県市議会議長会第2回定期総会に副議長、事務局長出席（三沢市）
- 11月14日 葛川小中学校学習発表会に議長出席

- 23日 猿賀神社新嘗祭に議長ほか出席
- 24日 平成21年度高規格道路建設及び道路整備促進青森県総決起大会に議長出席（青森市）
- 〃日 議会広報特別委員会
- 25日 平成21年度第2回青森県後期高齢者医療広域連合議会定例会に議長出席（青森市）
- 建設経済常任委員会所管事務調査（つがる市）
- 26日 第5回臨時会
- 27日 「平川市民文化祭2009」舞台発表に議長出席
- 29日 黒石記者クラブ筆供養に議長出席（黒石市）
- 12月3日 議会運営委員会・議会広報特別委員会
- 4日 叙勲・県褒賞受章合同祝賀会に議長ほか出席
- 16日 祝敬老お楽しみ会（碓ヶ関地域）に議長ほか出席
- 20日

### 平成22年

- 1月4日 市民「新年を祝う会」に議長ほか出席
- 5日 新議長あいさつ訪問（八戸市ほか）
- 6日 平賀建築組合通常総会及び懇親会に議長出席
- 7日 新議長あいさつ訪問（青森市ほか）
- 8日 尾上職人組合通常総会及び懇親会に議長出席
- 10日 平成21年度平川市成人式に議長ほか出席
- 13日 大鰐町議会新議長あいさつのため来庁 議長対応
- 20日 津軽南市町村議会連絡協議会事務局長会議に事務局長出席（黒石市）
- 25日 青森県市議会議長会事務局長会議に事務局長出席（青森市）
- 29日 平成22年平川市観光協会新年会に副議長出席
- 2月1日 平成21年度青森県市議会議長会第3回定期総会に議長、局長出席（青森市）
- 3日 平成21年度津軽南市町村議会連絡協議会第2回定期総会に議長、副議長、事務局長出席（黒石市）
- 4日 外川市長退任式に議長出席
- 〃日 第23回平賀はしご酒まつり開会式に議長出席
- 7日 第4回雪と子どもたち開会式に議長ほか出席
- 〃日 第4回平川市連合婦人会体育まつりに副議長ほか出席
- 8日 第99回全国市議会議員共済会代議員会に議長、事務局長出席（東京都）
- 13日 平成21年度平川市表彰条例及び平川市教育委員会表彰規定による表彰式に議長ほか出席
- 16日 教育民生常任委員会所管事務調査
- 19日 議会広報特別委員会
- 20日 猿賀神社「七日堂大祭」に議長ほか出席
- 24日 議会運営委員会
- 25日 平成22年第1回臨時会

### 編 | 集 | 室 | から

#### ◆調査捕鯨と日本

南極海で、シーシェパード（SS）の妨害を受け続けている日本の調査捕鯨。日本を始め6カ国が捕鯨をしているのに、なぜ日本が強いバッシングを受けるのか。

それは、国際捕鯨委員会から脱退したノルウェーの1.5倍もの鯨を捕獲しているからである。また、他の捕鯨国は自国の領海内で操業しているのに対し、日本は南極海や北太平洋という遠洋で操業しているのも影響しているものと感じる。

岡田外相が豪州外相との会談で、SSの豪州からの出入国を禁止するよう要請したのに対し、逆に国際司法裁判所に提訴すると言われてしまいました。

鯨文化のある日本ではあるが、反捕鯨国の友人達を敵に回してまでも続ける必要があるのか、いささか疑問を感じる。（大川 登）